



2010年1月28日(木)

マーケット情報

ベトナム株式市場: 続落

28日のベトナム株式市場は続落となった。主要企業の好調な業績発表をきっかけに一時買われ、VN指数は488ポイント近くまで反発する場面も見られたが、テト前で買いの力も弱く、再び下落となった。VN指数は-4.65ポイント(-0.96%)の481.76ポイントで取引を終了。ハノイ市場のVH指数は-1.58ポイント(-0.98%)の159.32ポイント。出来高と売買代金は前日比4割程度減少した。

個別では、足元の業績が好調なマッサングループ(MSN)が+4.86%のストップ高。最近上場したビンズオン建設鉱産(KSB)も+4.67%。保険大手のパオベト保険(BVH)が+2%、パオミン保険(BMI)が+3.57%と好調。一方、ソンダグループ関連鉄鋼会社ベトイ鉄鋼(VIS)が-4.35%、キンバックシティグループ(KBC)が-0.87%と下落した。

トピックス

○有力銘柄の好調な決算発表(続き)

- ・マッサングループ(MSN)は好調な業績を発表した。第4四半期の売上高が1兆3530億ドン、税引後利益が2550億ドン。マッサンフーズ株の株式の72.8%とテックコムバンク(TCB)の20%などを保有するため、第4四半期の投資活動による収益が818億ドン。1~12累計の収入が3兆9795億ドン(約195億円)、投資活動による収入が1504億ドン(7.4億円)と前年比大幅増加した。通年単独税引後利益が6358億ドン(約31.2億円)、関連会社から得る利益が223億ドン、純利益が3709億ドン(18.2億円)となる。また、最近マッサングループは日係企業ハウス食品に対し900万株を個別発行した。本日、株価が+1700ドン(ストップ高)の36700ドンで取引を終了。
- ・ペトロベトナム化学肥料(DPM): 2009年の売上高が6兆6300億ドン(325億円)、税引後利益が1兆3430億ドン(65.8億円)と前年比+2.4%、-3%である。
- ・不動産開発のビンコム(VIC): 2009年の売上高が1兆9670億ドン(96.4億円)、税引後利益が8430億ドン(41.3億円)と2008年とくらべそれぞれ8.22倍、5.7倍増加した。
- ・貴金属関連大手のフーニュアンジュエリー(PNJ): 2009年の売上高が10兆2400億ドン(502億円)、税引後利益が2196億ドン(10.7億円)と前年比それぞれ143.6%、66.5%増加した。2009年8月に3対1の無償増資を実施した。
- ・建設のリコジ16(LCG): 2009年の売上高が5100億ドン(25億円)、税引後利益が2090億ドン(10.2億円)と前年比それぞれ14.7%、56.7%増加した。2009年6月に株式配当50%を実施した。また2009年12月に自社株100万を買入れる予定も発表した。

本日の注目発表

□カレンダー

権利落ち

- ・2/1 PPC 普通配当1200ドン/株、支払予定日: 3/2
LGL有償増資2:1、販売価額1.5万ドン、発行予定日: 5/14
- ・2/2 GMC 普通配当1000ドン/株、支払予定日: 3/10
- ・2/8 SRC 普通配当1200ドン/株、支払予定日: 3/10

上場関連

- ・1/29 DIG 3000万株 追加上場(株式配当分)
- ・1/29 DHC 199.9万株 追加上場(株式配当分)
- ・2/1 KDH(カンディエン住宅販売投資) HOSE新規上場
上場株数: 3320万、基準価格: 4万ドン、初日: ± 20%
- ・2/2 HDG ハドグループ HOSE新規上場
上場株数: 1350万、基準価格: 8.6万ドン、初日: ± 20%

□対VND為替レート

(出典: ベトコム銀行)

通貨	TTB	TTM	TTS	通貨	TTB	TTM	TTS
AUD	16,370	16,469	16,785	JPY	202	204	208
EUR	25,723	25,800	26,242	SGD	13,019	13,111	13,336
GBP	29,568	29,776	30,287	THB	549	549	575
HKD	2,351	2,367	2,408	USD	18,469	18,469	18,479

□内部者等株式買取・売却発表

- ・ABT: 1/21~1/25、サイゴン証券(SSS)が56万4882株を買い入れ、保有比率を10.32%から15.3%に引き上げた。
- ・OPC: サイゴン証券系ファンドが9万670株を売却、保有比率を13.49%から12.38%までに引き下げた。
- ・TAC: 11/6~12/25、郵政ファインナンス公社が全保有の114万9000株を売却した。
- ・VHG: 10/15~12/31、監査役の兄弟が14000株を売却、保有株数を15万1000株に引き下げた。
- ・CNT: 副社長が7000株を売却、保有株数を2万9000株に引き下げた。
- ・DIG: 副社長夫人が5000株を買入れる予定。
- ・CDC: 役員が2万株を売却、保有株数を29万293株に引き下げる予定。

上場企業関連ニュース・発表

- ・HBC: 2009年の売上高が1兆7700億ドン(86.7億円)、税引前利益が470億ドン(2.3億円)と前年比470%増加した。
- ・VSG: 2009年の売上高が1188億ドン(5.8億円)、純利益が2700万ドン(13.2万円)と予想を大幅に下回った。
- ・GTA: 2009年の売上高が2971億ドン(14.6億円)、税引前利益が92億ドン(0.45億円)と前年比それぞれ78.5%、22.2%増加した。
- ・GMC: 2009年の売上高が3807億ドン(18.7億円)、税引前利益が345億ドン(1.7億円)と前年比それぞれ-15.2%、+100%だった。
- ・HAS: 2009年の売上高が896億ドン(4.4億円)、税引前利益が93億ドン(0.45億円)と前年比-25.2%、-26.3%。

オリエント証券株式会社【関東財務局長(金商)第54号】

加入協会 日本証券業協会 主な事業 金融商品取引業

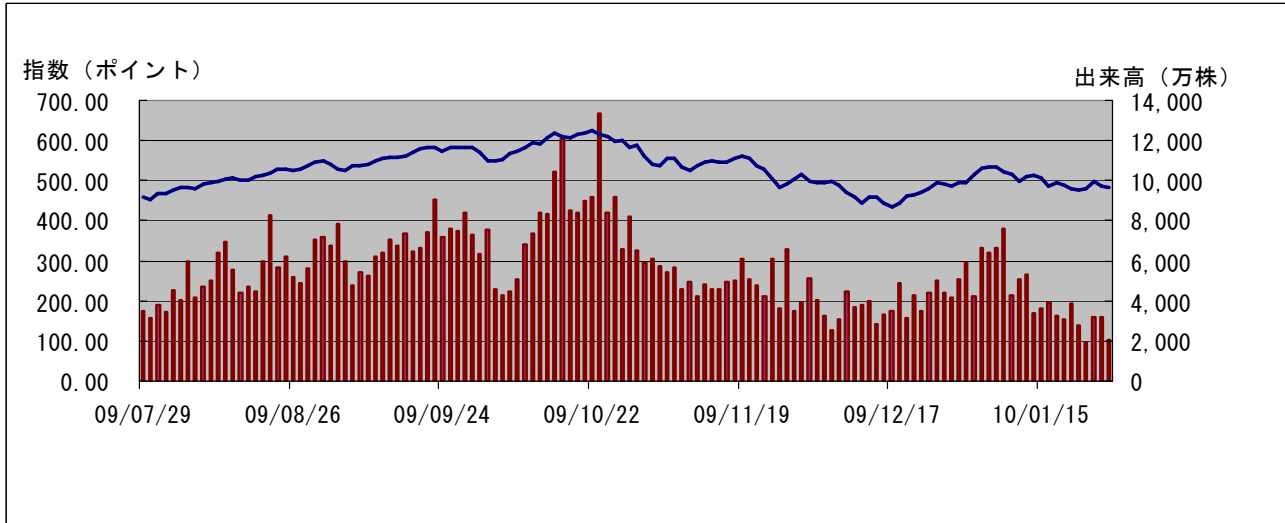
外国株式は、価格変動リスク、為替変動リスク、カントリーリスク、会計基準変更リスク、流動性リスク、取引相手先リスク(カウンターパーティーリスク)、機会損失、その他リスクがあります。ご投資をする際には、上記価格変動及び為替変動により投資元本を下回るおそれがありますので、約款・投資ガイド及び契約締結前交付書面をよくお読みいただき、商品特性やリスク及びお取引ルール等を十分ご理解の上、投資家ご本人様の判断にて行ってください。ベトナム株式へのご投資には、基本取扱手数料(約定代金×2.10%(最低手数料 800,000ドン)) (税込)が必要です。外国株式の売買にあたり、円貨と外貨を交換する場合には、外国為替市場の動向をふまえて当社が決定した為替レートによるものとします。



□ VN 指数

VN 指数	481.76	前日比	-4.65 (-0.96%)
全出来高 (万株)	2,307	値上り銘柄数	30
売買代金 (百万 VND)	924,702	値下り銘柄数	153

□ VN 指数チャート(日足6ヶ月) ※チャート上の出来高はプットスルー分を含んでおりません。



□ HOSE 値上り・値下り上位5銘柄

値上り上位5銘柄				
コード	銘柄名	終値	前日比	売買代金
PNC	フオンナム文化	10.5	+5.00	3,558
MSN	マッサングループ	36.7	+4.86	5,646
KSB	ビンズオン建設鉱産	56.0	+4.67	448
DXV	ダナンセメント物資建設	13.8	+4.55	3,151
TSC	カントー農業技術資材	30.1	+4.51	1,533

値下り上位5銘柄				
コード	銘柄名	終値	前日比	売買代金
ANV	ナムベト水産	15.2	-5.00	5,263
BMC	ビンディン鉱産	57.0	-5.00	1,294
KSH	ハナム鉱山	45.6	-5.00	7,008
L10	リラマ10	19.0	-5.00	33
CMG	CMC技術グループ	28.7	-4.97	71

※終値は1千 VND、前日比は%、売買代金は百万 VND

□ HOSE 売買代金上位5銘柄

コード	銘柄名	終値	前日比	売買代金
SSI	サイゴン証券	82.0	-1.80	75,166
LCG	リコジ16	72.0	-2.70	43,160
KBC	キンバック・シティグループ	57.0	-0.87	39,215
EIB	エクシムバンク	23.1	-2.53	31,849
VIS	ベトイ鉄鋼	88.0	-4.35	26,765

※終値は1千 VND、前日比は%、売買代金は百万 VND

オリエント証券株式会社【関東財務局長(金商)第54号】

加入協会 日本証券業協会 主な事業 金融商品取引業

外国株式は、価格変動リスク、為替変動リスク、カントリーリスク、会計基準変更リスク、流動性リスク、取引相手先リスク(カウンターパーティーリスク)、機会損失、その他リスクがあります。ご投資をする際には、上記価格変動及び為替変動により投資元本を下回るおそれがありますので、約款・投資ガイド及び契約締結前交付書面をよくお読みいただき、商品特性やリスク及びお取引ルール等を十分ご理解の上、投資家ご本人様の判断にて行ってください。ベトナム株式へのご投資には、基本取扱手数料(約定代金×2.10% (最低手数料 800,000ドン)) (税込)が必要です。外国株式の売買にあたり、円貨と外貨を交換する場合には、外国為替市場の動向をふまえて当社が決定した為替レートによるものとします。